

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

(宣言日・変更日) 令和元年11月12日

| 事業所・団体としての2030年の(または中長期的な)あるべき姿 | | |
|---|---|---|
| <p>一步先を行く技術とアイデアで、お客様に最適なエンジニアリングソリューションを提供し、グローバルな社会・産業の発展に貢献します。</p> | | |
| 事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動 | | |
| <p>当社では長年のエンジニアリング事業活動の実績をもとに、エネルギー分野、海洋分野、環境分野において環境保全、環境負荷低減に繋がる設備やシステムを提案・建設してきています。特に静岡市においてはシャフト炉式ガス化溶融炉を建設・運営させていただいております。シャフト炉式ガス化溶融炉を用い家庭ごみに加え、焼却灰、災害ごみ等の多種多様なごみを安全処理し、発生する良質スラグを土木資材に加え、地元の農業分野や漁業分野に活用し生産量向上や対象物を拡大することで地域共生型社会構築や都市と人間の住居地域の安全に関し継続可能は循環型社会に貢献しています。</p> | | |
| 各目標に関連する取組内容 | | |
| ゴール | これまでの取組 | 来年度の取組目標 |
|  | <p>弊社は長年にわたり地熱発電設備、風力発電設備、バイオマス発電設備(ごみ処理発電含む)の建設に取り組んでおり、すべての人々に手ごろで安定し、信頼できる持続可能な再生可能なエネルギーを供給する。</p> | <p>地熱発電設備、風力発電設備及びごみ処理発電を含むバイオマス発電設備は、長期安定電源の一翼を担う再生可能エネルギーであり、弊社技術と実績を生かして更なる拡大に努め、都市と人の安定活動に貢献していく。</p> |
|  | <p>静岡市西ヶ谷清掃工場(家庭ごみ、焼却灰及び災害ごみ処理)から発生する安全な溶融スラグを主骨材とした防災土嚢(土嚢袋、フレコン袋)を制作し、災害(土砂崩れ、洪水時)防止や被害拡大に対応している。更に、使用した溶融スラグは西ヶ谷清掃工場で再処理することで安全な溶融スラグとして再生し、都市と人間の住居地域の安全を持続可能な事業形態につなげている。</p> | <p>静岡市西ヶ谷清掃工場では災害時に発生する災害ごみ処理対応が可能であり、また、処理により発生する溶融スラグは安全な品質を持ち防災土嚢対応や河川の盛土等骨材として利用でき、都市と人間の住居地域の持続可能な事業形態発展に寄与していく。</p> |
|  | <p>静岡市西ヶ谷清掃工場(家庭ごみ、焼却灰及び災害ごみ処理)から発生する溶融スラグを地元地区で全量利用に加え、静岡市様・静岡大学様との産官学連携により溶融スラグの「けい酸質肥料」としての仮登録認証取得、その後JA静岡経済連からの肥料販売開始より、溶融スラグを地元農業活性化に貢献している。また、静岡市西ヶ谷清掃工場溶融スラグを使用しての海洋関連(藻場生育、人工干潟等)にも寄与し、地元地区強制、持続可能な事業形態につなげている。</p> | <p>肥料用途では、現在の仮登録から「けい酸質肥料」としての本登録認可への取り組みを推進する。水稲を含むイネ科植物(マコモダケ、サトウキビ、トウモロコシ)を基本として多種植物分野(ワサビ、キヌア、サツマイモ等)へ利用を拡大する。また、海洋においても、溶融スラグ入りブロックを用いた藻場生育に加え、溶融スラグ砂を使用した魚介類(シジミ、アサリ、車エビ等)の生育(陸上生育含む)に取り組み、農水産業の活性化につなげる。</p> |
|  | <p>海洋と海洋資源を持続可能な形で利用している。沖合という新たな海域での養殖を可能とすることで高まる水産物需要にこたえるのみでなく、潮通しの良さによる海洋環境負荷抑制にもつながる。また餌糧の自動化による現場作業負荷低減、作業安全向上も実現する。このことにより産業発展と持続可能な社会実現に寄与する。</p> | <p>大規模沖合養殖システムの運営により、水産物資源の確保、海洋環境負荷抑制を持続可能な形態で推進する。</p> |
|  | <p>山の森林保安は山の土壌劣化防止のみでなく、山の生物多様性損失防止、河川水質の悪化防止、河川水が流れる海洋水質の悪化防止となる。弊社は高知県四万十市において森林の間伐材伐採を通じた森林保全活動を自治体と協調で実施している。伐採した間伐材は木材として有効利用するとともに、チップ類は地元ごみ処理施設(溶融炉施設)の燃料補助として有効利用する。</p> | <p>高知県四万十市において、地元自治体との協調により引き続き間伐材の伐採を通じて森林保全活動と資源有効活動を継続する</p> |

(記載上の注意)

- 1 取組は3~5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。

| | | |
|-----------|---|---------|
| 事業所・団体名称 | 日鉄エンジニアリング株式会社 (本社が届け出る場合はその事業所の数) | |
| 業種 | 2. 建設業 | |
| 代表者 職・氏名 | 職名 | 代表取締役社長 |
| | 氏名 | 藤原 真一 |
| 所在地 | 〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂6-16-11 208号 〒424-0828 静岡県静岡市清水区千歳町9-1-108 | |
| URL | https://www.eng.nipponsteel.com/index.html | |
| 従業員(構成員)数 | 男性 _____ 人 女性 _____ 人 計 <u>1,186</u> 人 | |